

活動報告・広島市立宇品小学校

実施日	2025年11月28日(金)9:30～12:30		天気	晴れ
テーマ	秋の森の観察	参加者	4年生5クラス、180名、引率7名、ガイド8名	
ルート	港公園(ローソン裏)→あかつき橋→海岸→小径→赤とんぼ広場→中の谷→元宇品港公園 13.5℃14.5℃			
準備	事前にミニガイドブックを配布、当日は森の観察ビンゴ、緊急トイレ場所打合せ			
観察物	赤白灯台、戦時中の地下壕入り口、クスノキの大木と葉の匂い、板根、シダの葉、カクレミノ(じゃんけんの木)、クロキ、カゴノキ、ツブラジイのドングリ、メタセコイア、アベマキの大木とドングリ、マイマイの食事跡、ジョロウグモ、海地蔵			
活動	出発地点は港公園です。赤白灯台を見て、あかつき橋を渡り、普段は入らない森の小径にガイドさんの案内で入ります。薄暗い森の中は別世界で、大きなクスノキや板根を観察、歩きながらキノコや色とりどりの落ち葉をタブレットで撮影して記録します。ドングリを拾ったり、メタセコイアのお話を聞いたり、クスノキの葉を揉んで匂ってみました。赤とんぼ広場では、大きなアベマキの周りで一休み、ここには戦時中、高射砲の陣地がありました。谷を降りて港公園に到着、宝珠を手を持つ海地蔵のお話を聞いてお弁当の時間です。楽しみにしていた秋の観察、きれいだった、楽しかったと沢山の笑顔の感想がありました。			



昔、元宇品は離れ小島でした



板根にびっくり



森の小径



秋の色



倒木を見上げて



アベマキの大木



この葉は何？ムベの葉！



海地蔵